

頁	章	見出し	小見出し	学習指導要領解説への対応	
		表紙			
1		目次 『関東の道路 歴史と役割』編集委員会			
2		第1章 扉			
3	第1章 道路の歴史	①古代の道 (弥生時代～平安時代)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■邪馬台国のころは「禽鹿の径(けもの道)」</li> <li>■古代最大の都、藤原京</li> <li>■都と地方を密接に結ぶ「七道駅路」</li> <li>■七道駅路と現代の高速道路</li> </ul>	■P90 歴史的分野 (2)古代までの日本工、考古学などの成果	
4			<ul style="list-style-type: none"> <li>■頼朝は鎌倉を拠点に関東、さらに全国を支配</li> <li>■鎌倉の都市計画</li> <li>■東海道が大動脈に</li> <li>■「いざ鎌倉」を支えた鎌倉街道</li> <li>■道路づくりを進めた戦国大名</li> </ul>	■P92 歴史的分野 (3)中世の日本 イ、この時代の文化の中に現在に結び付くものに気付かせる	
5			<ul style="list-style-type: none"> <li>■道路整備を進めた信長と秀吉</li> <li>■家康の全国支配と五街道の整備</li> <li>■日本橋が五街道の基点に</li> <li>■100万人の大都市に発展</li> </ul>	■P93 歴史的分野 近世の日本 織田・豊臣による統一事業及び江戸幕府による諸政策を通して生まれた安定した社会の中で産業や交通が著しく発達	
6			<ul style="list-style-type: none"> <li>■文明開化による西洋化 鉄道優先で道は置き去りに</li> <li>■殖産興業と絹の道</li> <li>■関東大震災 後藤新平と復興計画</li> <li>■まぼろしとなった高速道路ネットワーク計画</li> </ul>	■歴史的分野 近代の日本 エ、我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを通して、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成	
7			<ul style="list-style-type: none"> <li>■文明開化による西洋化 鉄道優先で道は置き去りに</li> <li>■殖産興業と絹の道</li> <li>■関東大震災 後藤新平と復興計画</li> <li>■まぼろしとなった高速道路ネットワーク計画</li> </ul>	■歴史的分野 近代の日本 エ、我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを通して、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成	
8		③近世の道 (安土・桃山時代～江戸時代)			
9		④近代の道 (明治時代～大正時代～昭和20年まで)			
10		もっと知ろう！ 未知・道・みちくさ①	古代の道路と都市づくり／幕末に來日した外国人の見た道路／日本初の道路の法律		
11		第2章 扉			
12	第2章 自動車と道路	①自動車の誕生と大衆化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■約130年前にドイツで「馬なしで走る車」が誕生</li> <li>■自動車の性能向上を競う</li> <li>■20世紀初めにアメリカで大量生産による大衆化</li> <li>■国産自動車の実用化をめざして</li> <li>■日本の自動車の普及は円太郎バスと円タクから</li> <li>■日本の自動車産業のきざし</li> </ul>	■歴史的分野 近代の日本 エ、我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを通して、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成	
13			<ul style="list-style-type: none"> <li>■敗戦による占領下 援助資金で道路を修繕</li> <li>■独立の回復後 新しい道路行政を開始</li> <li>■高速道路の建設費を世界銀行から借りる</li> <li>■日本初の高速道路が誕生</li> <li>■高速道路の技術を伝えた外国人専門家</li> </ul>	■歴史的分野 近代の日本 エ、我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを通して、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成	
14			<ul style="list-style-type: none"> <li>■高度経済成長とモータリゼーション</li> <li>■オリンピック開催に向けて首都高速道路を整備</li> <li>■進む高速道路の整備 それを超え通行台数が急増</li> <li>■高速道路ネットワーク 1万4千kmをめざす</li> </ul>	■P55 地理的分野 エ、地域間の結び付き 国内の交通・通信網の整備状況を取り上げ、日本と世界の結び付きや国内各地の結び付きの特色を大観させる	
15			<ul style="list-style-type: none"> <li>■高度経済成長を支えた道路交通</li> <li>■高速道路の整備により利便性と経済効率が向上</li> <li>■昭和30年代から事故激増「交通戦争」と呼ばれる</li> <li>■東京区内の自動車はマラソンランナーより遅い</li> <li>■自動車の排出ガス等による大気汚染が問題化</li> </ul>	■P55 地理的分野 エ、地域間の結び付き 国内の交通・通信網の整備状況を取り上げ、日本と世界の結び付きや国内各地の結び付きの特色を大観させる	
16			<ul style="list-style-type: none"> <li>■高度経済成長を支えた道路交通</li> <li>■高速道路の整備により利便性と経済効率が向上</li> <li>■昭和30年代から事故激増「交通戦争」と呼ばれる</li> <li>■東京区内の自動車はマラソンランナーより遅い</li> <li>■自動車の排出ガス等による大気汚染が問題化</li> </ul>	■P55 地理的分野 エ、地域間の結び付き 国内の交通・通信網の整備状況を取り上げ、日本と世界の結び付きや国内各地の結び付きの特色を大観させる	
17		②戦後復興と高速道路の誕生			
18		③高速道路時代の進展			
19		④高度経済成長の光と影			
20		もっと知ろう！ 未知・道・みちくさ②	現在の高速道路の基礎になったドイツのアウトバーン／道路ネットワークの日欧比較		
21		第3章 扉			
22	第3章 道路の現状と役割	①経済発展を支える国道	<ul style="list-style-type: none"> <li>■生活や産業を支える一般国道</li> <li>■今も使われる昔の街道名</li> <li>■東京湾岸地帯の経済集積と国道357号</li> <li>■国道整備が生んだビジネスチャンス</li> <li>■首都圏を周回する唯一の環状国道</li> <li>■バス観光の時代を支える国道</li> </ul>	■P92 歴史的分野 (3)中世の日本 イ、この時代の文化の中に現在に結び付くものに気付かせる	
23			<ul style="list-style-type: none"> <li>■放射状の道路整備が進む一方 環状道路は整備が遅れた</li> <li>■環状道路の整備により期待される効果</li> <li>■圏央道(首都圏中央連絡自動車道) 約300kmのうち開通済は約240km</li> <li>■外環道(東京外かく環状道路) 約85kmのうち開通済は約34km</li> <li>■中央環状線(首都高速中央環状線) 約47kmの全線開通済</li> </ul>	■P55 地理的分野 エ、地域間の結び付き 国内の交通・通信網の整備状況を取り上げ、日本と世界の結び付きや国内各地の結び付きの特色を大観させる	
24			<ul style="list-style-type: none"> <li>■今後、建設後50年以上たつ橋やトンネルが急増</li> <li>■損傷などによって、年々通行規制の橋が増加</li> <li>■橋の経年変化による損傷 その3つの大きな原因</li> <li>■メンテナンスサイクルによる予防保全で長く安全に</li> </ul>	■地理的分野 身近な地域の調査 身近な地域における諸事情を取り上げ、観察や調査などの活動を行い、生徒が生活している土地に対する理解と関心を深める	
25			<ul style="list-style-type: none"> <li>■直下地震の発生確率は今後30年間で70%ほど</li> <li>■高潮や洪水による大規模な浸水被害</li> <li>■首都直下地震では八方向作戦で道路啓開を</li> <li>■救援物資の輸送を支える高速道路ネットワーク</li> </ul>	■地理的分野 自然災害分野 防災対策にとどまらず、災害時の対応や復旧、復興を見据えた視点からの取扱い	
26			<ul style="list-style-type: none"> <li>■直下地震の発生確率は今後30年間で70%ほど</li> <li>■高潮や洪水による大規模な浸水被害</li> <li>■首都直下地震では八方向作戦で道路啓開を</li> <li>■救援物資の輸送を支える高速道路ネットワーク</li> </ul>	■地理的分野 自然災害分野 防災対策にとどまらず、災害時の対応や復旧、復興を見据えた視点からの取扱い	
27		②首都圏を支える高速道路ネットワーク			
28		③老朽化が進む橋やトンネル			
29		④大災害時の道路の役割			
30		もっと知ろう！ 未知・道・みちくさ③	雨水を吸い込む排水性・低騒音舗装／古くなった橋やトンネルが増えている理由／命の道—東日本大震災での教訓		
31		第4章 扉			
32	第4章 進化する道路	①最新技術で道路を賢く使う	<ul style="list-style-type: none"> <li>■貧弱な日本の高速道路ネットワーク</li> <li>■自動車と道路が通信を交わして安全で快適な道路交通へ</li> <li>■ETC2.0の運転支援サービスは渋滞回避や安全運転、災害時に役立つ</li> <li>■ETC2.0で道路ネットワークが“賢く”使える時代に</li> <li>■もっと快適で“賢い”料金所</li> <li>■道路状況に応じて 料金が“賢く”変化</li> <li>■物流を“賢く”効率化</li> </ul>	■P73 地理的分野 高速道路の整備による内陸部への企業進出といった他地域との結び付きにかかわる地理的事象	
33			<ul style="list-style-type: none"> <li>■地下をモグラのように掘り進むシールドマシン</li> <li>■トンネル内の空気をきれいにして上空へ</li> <li>■東京湾アクアライン 海底トンネルと橋</li> <li>■中央環状線の西側区間 日本最長の道路トンネル</li> <li>■外環道の東側(千葉県区間) 環境に配慮した構造で建設中</li> <li>■外環道の西側(東京都区間) 大深度地下方式で建設中</li> </ul>	■P64 地理的分野 物資や人々の移動の特色や変化などと関連付け	
34			<ul style="list-style-type: none"> <li>■成長する道の駅 地方創生を担う拠点へ</li> <li>■地方創生が期待されるスマートインターチェンジ</li> <li>■SA・PA接続型と本線直結型の2タイプ</li> </ul>	■地理的分野 身近な地域の調査 身近な地域における諸事情を取り上げ、観察や調査などの活動を行い、生徒が生活している土地に対する理解と関心を深める	
35			<ul style="list-style-type: none"> <li>■歩行者も自転車も安全に 自転車通行空間の整備</li> <li>■歩道空間を車道側へ広げ ゆったり歩きやすい空間に</li> <li>■混雑する新宿駅南口前を安全・安心・快適な歩行空間に</li> <li>■無電柱化により電線や電柱のない街並みへ</li> </ul>	■地理的分野 身近な地域の調査 身近な地域における諸事情を取り上げ、観察や調査などの活動を行い、生徒が生活している土地に対する理解と関心を深める	
36			<ul style="list-style-type: none"> <li>■歩行者も自転車も安全に 自転車通行空間の整備</li> <li>■歩道空間を車道側へ広げ ゆったり歩きやすい空間に</li> <li>■混雑する新宿駅南口前を安全・安心・快適な歩行空間に</li> <li>■無電柱化により電線や電柱のない街並みへ</li> </ul>	■地理的分野 身近な地域の調査 身近な地域における諸事情を取り上げ、観察や調査などの活動を行い、生徒が生活している土地に対する理解と関心を深める	
37		②巨大都市の道路は地下へ			
38		③地方創生を担う、道の駅とスマートインターチェンジ			
39		④道路空間をもっと活用			
40		もっと知ろう！ 未知・道・みちくさ④	大深度地下の利用／道路トンネルの事故や火災への備え／「ゾーン30」で生活道路を安全で快適に		
41		道路は多様な空間／道路の種類と交通量の分担			
42	資料編	社会資本を使い続けることによる経済効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の整備によるストック効果の例(圏央道)</li> <li>暮らしを支える企業が続々と立地</li> <li>都心経由の交通が圏央道に転換</li> <li>各地の観光スポットが身近に</li> </ul>		
43			<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害が起きやすい地域</li> <li>・災害対策本部</li> <li>・TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)</li> <li>・道路啓開 被災地へ真っ先に急行</li> <li>・道路や橋を災害に強く</li> </ul>		
44					
45					
46		関東地方整備局による大災害時の支援			
		裏表紙			